

# 断熱材

屋根・壁【断熱材】

## ウッドファイバー

ウッドファイバー：

木質纖維断熱材

屋根【200】／壁【100】+【50】

Cランク

※断熱材の厚さ、4地域の場合

平成25年省エネ基準

## 北海道の木から生まれた木質纖維断熱材



施工例

ウッドファイバー（木質纖維断熱材）は環境・健康に対応した次世代エコ断熱材で、環境先進国のドイツで開発されました。そして2009年、ドイツの最新設備を導入し、北海道の針葉樹を原料とする生産工場が、北海道の苫小牧市に誕生。ウッドファイバーは生産の過程から、環境保全・環境負荷軽減・地球温暖化防止に最大限配慮したエコロジー商品です。

## — 7つの特長 —

①森林保全・環境保全・・・林地残材や間伐材の利用促進により森林循環を促します。

また、工場にはパーク（樹皮）を燃料とするボイラーを設置。木を無駄にすることなく活用し、かつ化石燃料に極力依存しない省エネルギー生産を実現しました。



ボイラーの燃料となる  
パーク（樹皮）



原料となる木質纖維。  
林地残材から作られます。



CFP（カーボンフットプリント）の  
認定を取得。  
 $CO_2$ の「見える化」を推進し  
低炭素社会の実現を目指します。

②安心・安全・快適・・・原料は不純物のない北海道産バージンチップを使用。ホルムアルデヒドやVOC

（トルエン・キシレン他）フリーでシックハウス・アレルギー対策にも貢献。

住む人にも、建てる人にも安心・安全な断熱材です。



ウッドファイバーは  
「築後材マーク（認定番号K1010270）」  
「エコマーク（認定番号09123041）」  
認定商品です。

※ウッドファイバーは建築基準法におけるシックハウス対策において「告示対象外商品」です。「F☆☆☆☆相当」の建材としてご使用いただけます。

③断熱・・・ウッドファイバーは高性能グラスウールなどと同等の断熱性能を有しており、申し分のない断熱効果を発揮。住宅の省エネルギー化に大きな役割を担う高性能断熱材です。

※住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）の断熱材区分ではC区分（ $\lambda = 0.040 \sim 0.035$ ）に相当します。

④熱緩和・・・熱容量が高く、周囲の温度影響を受けにくい特長を持っています。夏季においては、暑さが室内に到達する時間を遅延させ、涼しい室内環境を創出。冬季においても、室内の温度変化がおこりにくい環境を創出。年間を通して、冷暖房費の削減に貢献します。

⑤吸音性・・・優れた吸音性能が話し声、テレビ音、車のエンジン音といった生活騒音の軽減に効果を発揮。

居住空間に静寂をもたらし、プライバシーの確保にも貢献します。

⑥調湿性・・・木が主原料であるウッドファイバーは、木材の特性である調湿性能（吸放湿性）をもっているので湿度をコントロールすることができます。

⑦施工性・・・適度な密度と柔軟性があるため、構造体にしっかり密着。隙間のない断熱施工が容易です。